

知っていますか？



CKD(慢性腎臓病)

市健康保険課 (1階⑥番窓口) ☎ 31-1162

慢性腎臓病(CKD)とは？

慢性腎臓病(CKD)は新たな国民病です。以下の症状のうち1つでも該当し、それが3か月以上続く場合は、CKDに該当します。

- たんぱく尿が出ている(腎障害の存在が明らか)
⇒尿検査で分かる
- eGFR(推算糸球体濾過量)が60mL/分/1.73m²未満
⇒血液検査で分かる

※eGFRとは、腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排出する能力があるかを示す指標。値が低いほど腎臓の働きが悪い。

CKDが進行するとどうなるの？

●人工透析等が必要になります

適切な治療を受けずに放っておくと、透析が必要な腎不全まで進行します。日本の透析患者は約30万人(国民の400人に1人)で、世界中で透析患者が増えています。

●心筋梗塞や脳卒中など生命に関わる循環器系疾患の危険が高まります(発症率が約3倍に)

CKDは自覚症状が無いため、ほとんどの人は自分がCKDであることが分かりません。必ず毎年健康診断を受け、自分の健康をチェックしましょう。

腎臓病予防講演会を開催します！

毎年3月の第2木曜日は「世界腎臓デー」と定められており、今年は3月10日(木)に当たります。今年のテーマは、「腎臓病と子ども～早目に予防しよう～！」です。

市ではこの「世界腎臓デー」に合わせて講演会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：3月19日(土) 13:30～16:00

場所：串良公民館別館(串良総合支所隣)

- 講演1「腎臓病が気になりはじめたら～見逃さないで！慢性腎臓病(CKD)～」
講師=屋 万栄 氏(池田病院 腎臓内科部長)
- 講演2「腎臓病を守る食事の基礎知識」(仮題)
講師=中菌 智美 氏(今村病院 管理栄養士)
- 腎臓なんでも相談(薬剤師・栄養士による相談)
- 減塩味噌汁試飲(食生活改善推進員)
- 「ちょいかけスプレー醤油さし」プレゼント(先着200人)

「鹿屋市慢性腎臓病(CKD)予防ネットワーク」

潜在的な患者を含めると成人の8人に1人がかかっていると言われるCKD。市ではCKDの重症化を予防するネットワークを10月から発足しました。

このネットワークは、特定健診等で腎機能の低下がみられた人に、CKD登録医と腎臓診療医との連携により適切な医療を受けていただくためのシステムです。

自分の腎臓の機能を知ることが第一歩です。まずは健診を受けましょう。

※市は今年度から、特定健診の結果でこのネットワークの対象となる人への情報提供等を始めます。

